

Babel Streetを使用して 知的財産権の盗難を防ぐ

たとえば、企業における営業機密情報を従業員が秘密裏に不正ダウンロードし闇市場で売却。広告代理店が、動画共有サイトに掲載のCMに著作権で保護された音楽を無断で使用。また、ある企業が他社の特許を侵害する製品を製造・販売する。

アメリカ 国内 だけでも、営業機密の不正使用や商標権、著作権、特許権の侵害といった知的財産権（IP）の盗用は、年間2250億から6000億ドルの損失を経済にもたらしています¹。敵対的な国家による盗用は特に懸念されており、FBI は中国を「世界最大の知的財産権侵害国」と呼んでいます²。テクノロジー、製薬、バイオテクノロジー、航空宇宙、防衛、自動車、エンターテインメント、エネルギーなどの業界が、知的財産権の盗用に対して特に脆弱だと言われています。

盗難の兆しの発見

知的財産権の盗用に対抗するためには、インターネットのすべての層（表層、深層、ダークウェブ）に存在する公開情報と商用情報（PAI/CAI）を継続的に監視することが必要です。継続的な監視により、組織は知的財産権の盗用が発生した際にその兆候を早期に検知し、盗用者が使用するオンライン上の身分を、その実在する身分と結びつけることが可能になります。

Babel Street InsightsはAIを活用したデータ分析プラットフォームであり、PAI/CAIのグローバルおよび地域限定的な何千もの情報源を、多言語で継続的に検索することができます。このプラットフォームを利用することで、組織が知的財産権の盗難の証拠を迅速に発見し、解釈することができます。当社のテクノロジーを利用することで、組織は次のことが可能になります。

アクセスが困難なダークウェブのマーケットプレイスや掲示板を監視し、知的財産権の盗用や販売の兆候を検出します。独自技術に関する言及や、「クローン」という単語の使用、ソースコードのスニペットなどは、すべて知的財産権の盗用を示す可能性があります。

- 不正なドメインの追跡。bablstreet.com（注：Babelの「e」が欠落している）のようなドメインの生成は、犯罪組織が盗み出した技術や模倣品を販売する計画を暗示することもあります。

- SNSを監視し、内部脅威の兆候を探る。従業員の大幅な散財ぶりを示す投稿は、知的財産権の盗用事例を示す可能性があります。
- 特許出願の調査を実施。これらの調査は、既存の特許を侵害する競合製品を特定するのに役立ちます。
- スクリーンネームやその他の識別情報を統合し、オンライン上のペルソナと現実世界の個人を関連付けます。

Babel Streetにできること

ゲームクリエイターが、大ヒットシリーズの新しい作品を準備しているとします。同社は、より深いストーリー、より大きな世界、そしてシリーズの最新作では登場しなかった人気キャラクターの復活など、ユーザーに多くの驚きを用意しています。ゲーム会社は、期待感が高まれば発売初期の売上が好調になると予想しています。一方、情報が漏洩すると、売上に悪影響が出る可能性があります。Babel Street Insightsを使用して、漏洩した情報を検出するにはどうすればよいでしょうか。

検索クエリの構築

特定のゲームをターゲットとした用語や関連キーワードを使用して、Babel Street Insights Document Searchを構築します。ゲームやそのキャラクターの名前、さらに「リーク」や「チート

コード」などの用語は、まだリリースされていないゲームに関する情報を見つけるのに役立ちます。SNS、ディープ/ダークウェブ、ブログなどのソースを指定することもでき、複数のデータソースを使用することで、検索範囲が拡大し、検索結果も増えます。



図1：人気のあるゲームにおけるリーク、チートコード、およびキャラクター名の検索

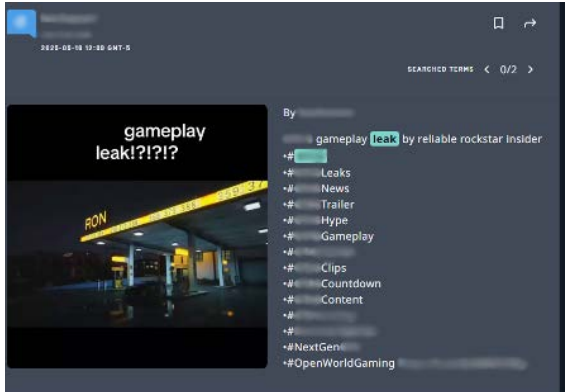


図2：さらなる調査を進めるためのSNSの投稿とハッシュタグが表示された結果

検索結果の確認

結果を確認する際、調査員は重要な情報や不審な行動の兆候をマークできます。検索用語は、迅速なアクセスと効率化を考え、ハイライト表示されます。興味深いレポートはブックマークし、プロジェクトに保存して、今後の参照や同僚との共有に利用することができます。SNS、ブログ、またはダークウェブに投稿された漏洩したゲーム情報には、調査員に新たな手掛かりを提供する著者情報やメタデータが含まれる場合があります。

窃盗犯を特定する

知的財産権の侵害を行った主体を特定することが主な目的です。著者情報その他の主要な識別子を活用し、調査員は「People Search」に切り替えて、これらの識別子を公開プロフィールや監視リストと照合することができます。検索結果には、電話番号や住所など、知的財産権の盗難を特定の個人と結びつけるための重要な情報が含まれる場合があります。

Endnotes

1. The National Bureau of Asian Research, Update to the IP Commission Report, accessed May 2025, https://www.nbr.org/wp-content/uploads/pdfs/publications/IP_Commission_Report_Update.pdf
2. Federal Bureau of Investigation, Executive Summary China: The Risk to Corporate America, accessed May 2025, <https://www.fbi.gov/file-repository/china-exec-summary-risk-to-corporate-america-2019.pdf>

Babel Streetは、信頼あるテクノロジーパートナーとして、世界最先端のアイデンティティインテリジェンスとリスク対策を実現します。Babel Street Insightsプラットフォームは、リスクと信頼のギャップを埋める高度なAIとデータ分析ソリューションを提供します。

Babel Streetは、言語を問わずにすぐに分析に使える最高レベルのデータを提供し、プロアクティブなリスク特定、多面的なインサイトの取得、高速自動処理、既存システムとのシームレスな連携を実現します。政府機関や企業が、身元の特定やリスクに関するハイリスクな業務を戦略的優位性に転換できるよう支援します。

詳しくは、babelstreet.jp をご覧ください。